◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
- 2 3 月及び 4 月の休館日
- 3 領事窓口時間等について
- 4 領事だより
 - (1) 3 月・4 月、年度替わりの時期に日本へ出発される方々へ
 - (2) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要 (3 月 27 日から)
 - (3) 在留届の届出内容に変更はありますか？
 - (4) ハリファックス日本語補習授業校からのお知らせ
 - (5) モンリオールアカデミー会からのお知らせ
 - (6) 子どもクラブからのお知らせ
- 5 広報・文化だより
- 6 当館管轄 5 州の政治
- 7 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶

皆さまこんにちは。

カナダでも今日からいよいよ「春」ですね！雪はまだまだ残っていますが、気温や日差しなど、日によってですが春の足音が聞こえてくる感じです。カナダ版三寒四温と言ったところでしょうか・・・。

先日待望の Cabane a sucre に行ってきました。おととしの秋に着任した際、前任の他国の総領事から、ここケベックには Cabane a sucre なるものがあり、冬の終わりにあなたもきっと招待されることになると言われました。メープルシロップを使った様々な料理がこれでもか～と出てくるのでぜひ気をつけたらよい・・・とのアドバイス付きでした。コロナ禍もあり結局誰も招待してくれなかったので、今シーズンは予約して行ってきました。ドイツはミュンヘンのビール祭りであるオクトーバーフェストのような雰囲気のお店もあるようですが、初心者なのでおとなしめの店を選びました。話にたがわずたくさんの皿が並び、なんとか全品数回口に運びましたが、最後にずらっと並んだデザートはさすがにひと口ずつしか食べられませんでした。時代を反映してか店側もフードロスがなるべく出ないように、こちらが初めてだと知るとどれくらい食べるかなど聞いてくれました。満腹になったら次は別棟で別腹の tire sur la neige です！甘かった～！その後まだ雪深いメープルの森に入って、実際の収穫（というよ

り採取でしょうか)の模様を目の当たりにしました。無色透明に見える樹液が、煮詰めるとあんななんだなあ・・・とちょっと感動しました。別途招待も受けているので、来月また行ってきます。

4月から始まる令和5年度に向け、仕込みや意見交換のためにトロントやオタワに出張してきました。久しぶりに終日会議室に籠って討論したり、日本の公的機関の駐在代表たちと年度を通じた協働について話したり、連邦議会議員たちとの人脈を構築して参りました。また、公邸での行事を再開するとともに、当地で活躍されている日本人の方々をお店に伺ってお話を聞く行脚も復活させました。外交という仕事は条約や共同声明等、字になるものを作ることはあっても、いわゆる目に見えるものを作ることはあまりありません。ここモントリオールで広い意味でのモノづくりに取り組んでおられる方々の努力と成果を目の当たりにし、さまざまなお話を伺うのは目から鱗が落ちることが多く、とても楽しいです。多少なりとも自分の業務に応用するとともに、できる範囲で応援して参ります。

さまざまなイベントにも引き続き積極的に顔を出しています。毎年3月8日は国際女性デーなのですが、当日開かれた女性の一層の活躍を応援する集まりにどういうわけか米英の総領事(両名とも女性です)とともに招待されました。ご存じの方も多と思いますが、いくつもの国際的な機関が日本はまだまだ女性活躍の余地が大きいとしています。以前ニューヨークの国連代表部で人権問題を担当していた際、女性の人権という切り口で、各国代表に対して日本の政策を売り込みつつ、本国に対してはまだまだ努力の必要があると説く「股割き状態」になって苦労していたことを思い出しました。その日は、もっとがんばって!という意味で呼ばれたのか、最近多少なりとも状況に進展が見られると判断して呼んでくれたのか、こわくて聞けませんでした。

ビジネス面での往来が復活してきている話はこれまでも書きましたが、このところ芸術面でも復活の動きが見られて喜ばしい限りです。日本からではありませんが、モントリオール交響楽団の名誉指揮者である日系のマエストロ Kent Nagano が昨年に引き続いてタクトを振りにヨーロッパからお見えになり、お話しする機会を得ました。久しぶりの北米ツアーに来た鼓童はカナダではモントリオール公演のみでしたが、私が興奮冷めやらぬなかホールを出たら、ご存知嵐太鼓のメンバーがズラッと出待ちをしてました。今回で41回目となる国際アート映画祭にも、出品作品の監督が乗り継ぎにヒヤヒヤしながら日本からお越しになり、ご自分の作品への評価のみならず、当地の映画関係者との交流にも手応えを感じられたようです。メルマガ本体で触れていますが、4月後半には天才少女との呼び声が高いバイオリニストの HIMARI さんが当地で演奏されます。なんと聴衆からの声援?拍手?で入賞が決まるという極めて民主的な演奏会ですので、私はもちろん足を運びますが、ひとりでも多くの方からのbrava!が飛ぶといいなと思っています。

記録的な早さで桜が咲き始めた日本がちょっとうらやましいですが、こちらのペースで展開していく季節を楽しんで参りたいと思います。

2 3月及び4月の休館日

- 4月7日（金） Good Friday
- 4月10日（月） Easter Monday
- 毎週土日

3 領事窓口時間等について

(1) 当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

(2) 一部の取り扱いにおける予約制

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】 consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】 514-866-3429

4 領事だより

(1) 3月・4月、年度替わりの時期に日本へ出発される方々へ

3月・4月と、日本は年度替わりの時期です。3月末で令和4年度が終わり、4月から令和5年度になります。

仕事や学業の都合で日本に出発される方も少なからずいらっしゃると思います。

そんな皆様におかれては、日本入国前には、Visit Japan Web での手続きをお忘れなく！

日本入国時の検疫手続きを一部事前登録し、ファストトラック利用が可能となりま

す。税関申告も可能です。

詳しくは Visit Japan Web の Web サイトをご覧ください。

<https://vjw-lp.digital.go.jp/>

そのほか、新型コロナウイルス感染症の日本の水際対策は、当館ホームページで随時更新してご案内しています。

【当館ホームページ】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/coronavirus_jp.html

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

(2) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要 (3月27日から)

●オンライン申請の開始

(i) 2023年3月27日から、旅券の発給申請手続きがオンライン化されます。

(ii) オンライン申請の場合、

・戸籍謄本提出の省略が認められる切替申請は、申請時に在外公館の窓口へ出向く必要がありません（パスポートの受け取りは、これまで通り窓口での対応となります。受け取る際は、必ず前回の旅券をお持ちください）。

・新規申請の場合や、現在お持ちの旅券面の記載事項を変更する場合は、戸籍謄本の提出が必要になります。窓口での提出、または、書留郵便やそれに準ずるものであれば郵送で提出することもできます。

(iii) 日本国外居住者の皆様は、オンライン在留届（ORR ネット）で在留届を提出した上で、在留邦人用旅券申請スマホアプリを通じてオンライン申請が可能となります。

(iv) オンライン申請は、アプリの画面上の案内にしたがって実施していただくこととなります。

●申請手続きの変更【今一度確認ください！】

(i) 戸籍謄本について

新しく旅券を申請する場合や、旅券面の記載事項に変更がある場合は、戸籍抄本ではなく、戸籍謄本をご用意ください。3月27日以降の申請では、戸籍抄本では受付することができかねます。

(ii) 査証欄（ビザページ）が残り少なくなった場合

旅券の査証欄を追加する増補制度が廃止されます。旅券の査証欄が残り少なくなりましたら、新しい旅券を申請してください。

(iii) 新しい旅券の速やかな受け取りについて

新しい旅券が発行され、6か月以内にお受け取りがない場合、新しい旅券は失効しま

す。失効後5年以内に次の旅券を申請する際は、手数料の額が通常よりも高くなります（※2023年3月27日以降に申請された旅券が6か月以内に受け取られずに失効した場合に適用されます）。

(iv) 申請書の様式変更について

オンライン申請ではなく、紙の申請書を使い窓口で申請される場合、2023年3月27日から、旅券発給等のための申請書の様式が変更されます。同日以降の申請では、古い様式の申請書ではご申請いただけなくなります。ご自宅で印刷可能な新様式のダウンロード申請書は以下のウェブサイトからご利用いただけます。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

【外務省ウェブサイト】

- 旅券法令改正及び旅券（パスポート）の電子申請の開始について

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page22_003958.html

- 令和4年の旅券法令改正による申請手続の主な変更点

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page22_003977.html

(3) 在留届の届出内容に変更はありますか？

【2023年4月1日をもって、ファックスによる提出方法は廃止となります】

外国に3か月以上滞在する日本人は、お住まいの地域を管轄する在外公館に在留届を提出することが義務づけられています。在外公館は、在留届をもとに、日本人の皆様が不慮の事故や事件、災害に遭遇した際の安否確認、日本国内連絡先への緊急連絡等を行っています。そのためには、在留届の記載内容が常に最新の状態であることが重要です。

●在留届を紙媒体で当館に提出された方：

届出内容に変更が生じた場合は、速やかに当館にご連絡くださるようお願いいたします。

●インターネット上で提出された方：

ご自身でインターネットにて手続きをお願いいたします。

災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3か月以上の滞在）の届出、またはたびレジ（3か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします。

※4月1日をもって、ファックスによる提出方法は廃止となります。原則として、インターネット上での提出をお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

(4) ハリファックス日本語補習授業校からのお知らせ

ハリファックス日本語補習授業校では、2023 年度 4 月から入学希望の新入生、他学年の生徒の募集をしております。

ご入学希望の方は、下記のアドレスまでご連絡下さい。

japaninhalifax@gmail.com

(5) モントリオールアカデミー会からのお知らせ

◎モントリオールアカデミー会帰国者講演会

モントリオールアカデミー会は研究と教育に関わる邦人の互助会として 50 年以上活動을續けて参りました。

研究予定年限を終えられて帰国予定の会員の方には、当地でのご研究の内容を紹介して頂いています。

下記日程で講演会をオンラインにて開催します。奮ってご参加下さい。

日時：

4/14(金) 19 時-20 時半 (モントリオール時間)

Zoom Link：

<https://umontreal.zoom.us/j/83068372679?pwd=azdReGVoSjk5RlhnbWU4Nk1tTkUyUT09>

講演予定：

演者：岸本直隆先生 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 歯科麻酔学分野

「歯科医院における患者急変対応シミュレーションの教育効果」

演者：坂口達也先生 久留米大学 医学部医学科 自然科学教室

「piQTL：タンパク質間相互作用に着目した個体差へのアプローチ」

(6) 子どもクラブからのお知らせ

子どもクラブは日系の親子が日本語で交流できるドロップインのプレイグループで、各自お弁当持参で集まっています。子供の年齢が近い親同士の出会いの場でもありません。プレママさんもパパさんも、お気軽にご参加ください！

開催日：4 月の開催日は 14 日、28 日 (第 2 & 第 4 金曜日) ※悪天候などで中止になる場合があります。

時間：11 時～15 時 (時間内であれば何時からでも参加可)

場所：日系文化会館

参加費：1 ドル

ご興味のある方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

info.mtlkodomoclub@gmail.com

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

(2) 文化庁主催第 8 回 JLPP 翻訳コンクール

日本書籍翻訳・普及事業の一環として、日本の現代文学作品の優れた翻訳家を発掘・育成することを目的に第 8 回 JLPP 翻訳コンクールが開催されます。

<https://www.jlpp.go.jp/competition8/index.html>

(3) 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●「Broken Promises」(ハリファックス市)

カナダにおける日系移民の歴史に関する展示です。

期間：4月23日(日)まで

場所：Canadian Museum of Immigration at Pier 21

1055 Marginal Road, Halifax NS

<https://pier21.ca/broken-promises>

●ナデシコン(ケベック市)

日本のポップカルチャー・コンベンションが開催されます。

期間：3月24日(金)～26日(日)

場所 : Quebec City Convention Centre
1000 Bd Rene-Levesque E, Quebec
<https://www.nadeshicon.ca/en/>

●Okinawa night in Montreal 2023
沖縄の食べ物、コンサートが楽しめます。
日時 : 3月25日(土)
場所 : KIN Experience
397A Rue Sainte-Catherine O. Montreal

1回目 : 12時30分~15時30分
<https://www.eventbrite.ca/e/okinawa-night-in-montreal-2023-1st-set-tickets-464972414007>

2回目 : 16時30分~20時
<https://www.eventbrite.ca/e/okinawa-night-in-montreal-2023-2nd-set-tickets-522035511267>

●La brasserie San-0 主催 : 味噌丸作りと麴ランチ
日時 : 3月26日(日) 10時30分~12時30分
場所 : Buffet Maharani
808 Rue Jean-Talon O, Montreal
<https://www.kojisoupe.com/event-details/latelier-de-miso-bomb-et-brunch-koji-japonaise-mars-26>

●抹茶と和菓子(最中)づくりのワークショップ
日時 : 3月26日(日) 11時30分、14時
場所 : Miyamoto
382 Av. Victoria, Westmount
<https://www.eventbrite.ca/e/billets-atelier-de-matcha-diy-wagashi-a-lepicerie-miyamoto-488277329637?aff=erellivlt>

日時 : 4月15日(日) 12時、14時30分
場所 : Sumi Dojo
3479 Boulevard Saint-Laurent, Montreal
<https://www.eventbrite.ca/e/billets-atelier-matcha-diy-wagashi-au-restaurant-sumi-dojo-566775911007?aff=JPN>

●いけばなインターナショナル3月例会
Hideko Shinto氏による折り紙教室が行われます。
日時 : 3月31日(金) 13時
場所 : Centre Communautaire Monkland
4410 ave. West Hill, Montreal

電話 : 514-872-8588

参加費 : 20 ドル

連絡先 : 田中和子氏 (kazuko.dorangeville@gmail.com)

●0 Japanese Tea 主催 : 茶道デモンストレーション

日時 : 4月16日(日)、5月7日(日)、6月4日(日) 12時、13時30分(各45分)

場所 : 15 Notre-Dame Ouest, Local 304, Montreal

<https://fb.me/e/4ezy3w6Mz>

●0 Japanese Tea 主催 : Let's eat tea!

日時 : 4月22日(日) 10時30分~11時30分、13時~14時

場所 : Kitano Shokudo

143 Avenue du Mont-Royal Est Montreal

<https://www.eventbrite.ca/e/mangeons-le-the-lets-eat-tea-tickets-579133492867?aff=Japan>

●The Mini Violoni 2023

第21回モントリオール国際音楽コンクール (Concours musical de international de Montreal) の一環で、「The Mini Violoni 2023」が開催されます。国際コンクールで受賞経験のある10歳~15歳のバイオリニスト達のコンサートで、日本からは11歳のHIMARIさんが演奏します。

日時 : 4月22日(土)・23日(日) 午後2時

場所 : Bourgie Hall, Montreal Museum of Fine Arts

1339 Rue Sherbrooke O, Montreal

<https://concoursmontreal.ca/en/violin-2023/mini-violini-2023/>

●Chant d'une clematite / Song of Clematis de Masako Miyazaki

宮崎雅子氏による写真展が開催中です。(無料)

期間 : 5月7日(日)まで

場所 : Parc Saint-Joseph

9909, 68e Avenue, Montreal

<https://montreal.ca/evenements/chant-dune-clematite-song-clematis-de-masako-miyazaki-28675>

●「JFF+ INDEPENDENT CINEMA」

国際交流基金が、日本各地のミニシアター支配人から推薦を受けた日本映画を無料ストリーミング配信しています。

期間 : 6月15日(木)まで

「アルプススタンドのはしの方」「戦慄せしめよ」「夜を走る」

「だってしょうがないじゃない」「距ててて」「夢は牛のお医者さん」

視聴方法等、詳細はこちらからご確認ください。

<https://jff.jp/watch/independent-cinema/film-lineup/>

●Festival de contes pour la jeunesse

市内各所にて、様々な年齢を対象にしたストーリーテリング、ワークショップ等が行われます。日系人のはなし家、Pascal Mitsuru Gueran 氏による日本に関するお話しの回もあります。

期間：5月13日（土）～28日（日）

<http://festilou.com/festilou/>

●ランゲージ・エクステンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクステンジが、毎週土曜日朝8時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会（オンライン）が随時開催されています。

<https://tr.jpf.go.jp/language/teachers/>

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jf.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://tr.jpf.go.jp/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・2月1日、州議会は、トルドー連邦政府が任命した、エルガワビ (Amira Elghawaby) 反イスラム感情対策特命代表の辞任を求める動議を可決 (ケベック連帯 (QS) は反対)。2日、ルゴー政権とブロック・ケベコワは、過去の発言で QC 州民を傷付けたと認めたエルガワビ氏の謝罪は受け入れるも同氏の辞任を要求。

・2月2日、米国からの正規の入国地点ではないロクサム街道 (Chemin Roxham) からの流入が続く亡命希望者に対する連邦政府からの労働許可証発行に時間がかかっており、生活保護受給者が急増。州政府は毎月 2000 万加ドルの追加費用を負担するよう連邦政府に要求。

・2月5日、ピロン州国際関係・仏語圏大臣は、国際機関 (OIF、ユネスコ、OECD) 代表者と面会するためパリを訪問。

・2月7日、連邦政府が州・準州に対して提案した、今後 10 年間の連邦医療費負担 462 億加ドルの増額分のうち、QC 州の割当分は 9 億加ドルとなる。ルゴー州首相は、望んでいた額よりも大幅に少ないと不満を表明。州・準州政府は、年間 280 億加ドルの連邦負担増額を要求していた。

・2月13日、ジロー前州国際関係・仏語圏大臣が死去。63歳。2022年10月の総選挙では、健康上の理由で出馬しなかった。

・2月20日、ルゴ州首相は、州の亡命希望者受け入れ能力が限界を超えているとして、バイデン米大統領が3月のカナダ訪問時にロクサム街道閉鎖について協議することを要求するとともに、今後は全ての亡命希望者を他州に送るようトルドー連邦首相に求める手紙を公開。21日、ルゴ州首相が同じ問題について寄稿した英語の記事が全国紙Globe and Mail紙に掲載される。22日、トルドー連邦首相は、問題解決にはまず米国との「安全な第三国協定」の再交渉が必要であるとの認識。

・2月21日、ケベック市、ラヴァル市に次ぎ、モントリオール市議会は、ケベックシティ・トロント間の高速列車(TGV)建設を求める動議を全会一致で可決。

・2月23日、州議会は、ウクライナ国民の「英雄的抵抗」に敬意を表するため、「ウクライナ国民の領土保全に対する不可侵の権利」を再確認する動議を可決。

・2月27日、州政府は、2月28日より、全ての政府支給のモバイルデバイスでソーシャルメディアアプリ「TikTok」を禁止すると発表。これは予防措置であり、他国がこのアプリを使って州公務員に対するスパイ活動をした証拠はないとの説明。連邦政府が同様の措置を発表したのと同日に発表。

・2月28日、ビロン州国際関係・仏語圏大臣は、ケベック州政府在日事務所開設50周年を記念して訪日し、州のビジネス関係者との面会等を実施。訪日はビロン大臣のアジア太平洋ミッションの一環で、他に在ソウル州政府事務所等を訪問。

(2) 大西洋諸州

・2月20日、大西洋4州首相は、5月1日より、大西洋州共通の医師登録制度を開始すると発表。医師の州をまたいだ医療行為に関する事務手続きを簡略化することで、各地の一時的なニーズに対応できるようにする。

・2月23日、トルドー連邦首相は、連邦政府が各州・準州の優先事項に応じて個別に協議中の今後10年間の医療費増額について、大西洋4州全てと個別協定を締結したと発表。各州に共通する優先事項は、地方部における医療サービスの充実、医療従事者の確保、メンタルヘルスや依存症ケアへのアクセス向上、IT化等。連邦医療交付金と合わせると今後10年間でNL州に21.8億加ドル、PEI州に9.9億加ドル、NS州に48.1億加ドル、NB州に36.4億加ドルが支給される。

・2月27日、ノバスコシア(NS)州とニューブランズウィック(NB)州は、QC州の負担軽減のため、同州ロクサム街道から入国してくる亡命希望者の受け入れを開始。

(3) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

・2月12日、メモリアル大学は、ストライキ実施中の教職員約800人を代表する組合(MUNFA)と暫定合意に達し、1月30日から一部中止されていた講義は15日に再開すると発表。

(4) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

・2月16日、PEI大学は、医学部開設がさらに1年延期となり2025年秋に開講すると発表。教員が集まらないこと、施設建設の遅れ、研修医の受け入れ態勢への懸念等が理由。

(5) ノバスコシア(NS)州

・2月14日、州選挙管理委員会は、インターネット投票システム開発・運営をスペインのScytI社に35万加ドルで発注。2021年州選挙法改正を受け、次回2025年州総選挙で海外に駐在するカナダ軍兵士がオンラインで投票できるようになる。

・2月28日、州政府は、3月1日より、全ての州政府支給のモバイルデバイスでソーシャルメディアアプリ「TikTok」を禁止すると発表。

(6) ニューブランズウィック(NB)州

・2月12日、州に2つある医療ネットワークのうちの1つVitaliteがコートジボワールとセネガルで医療従事者の採用活動実施を予定。コートジボワールとセネガルの両看護師協会代表は、自国の医療従事者不足の状況悪化や、せっかく育成した人材の流出を懸念し、採用しに来るのであれば育成も支援すべきであると発言。

・2月13日、2022年7月、州上空で旅客機が「箱付きの、長い尾を引いた大きな白い気球」を目撃し、モンクトン航空管制センターに報告していたとの報道。航空専門家は、最近アメリカやカナダで報告された中国の気球や他の未確認飛行物体との共通点が多いとコメント。

・2月15日、州内8ファーストネーションを代表する団体Mi'gmawé' l Tplu' taqnn Inc. (MTI)は、州土の大部分と周辺水域の権利を主張すると発表。個人の私有地ではなく、州有地と一部企業保有地の権利を求めていく。MTIは、連邦政府は同団体との協議の意思を表明済みであるとし、州政府に協議への参加を要求している。州先住民関係省によると、以前から州西部の権利を主張しているWolastoqeyファーストネーションと合わせると、州全域が先住権原の対象となっている。

・2月17日、ホーガン州教育大臣は、2023年秋に予定していた、英語系学校における第二言語としての仏語教育プログラム「フレンチイマージョン」廃止撤回を発表。プログラム見直しは改めて行うとのこと。

7 当館管轄5州の経済

(1) QC州

・2月2日、豚肉加工大手オリメル(Olymel)は、ハム・パテ類を製造するブランヴィルとラヴァルの2工場を4月28日に閉鎖すると発表。170人の雇用が失われる。

・2月2日、州政府は、シャルルボア鉄道で6月より3~4ヶ月間、水素燃料電池で走る列車「Coradia iLint」の北米初となる試験運行をアルストムと共同で実施すると発表。

・2月2日、ケベック市に本社を置くメディカゴの親会社である三菱化学グループは、

メディカゴの事業撤退と清算を発表。唯一の株主として、メディカゴへの出資を継続しないことを決定し、会社およびカナダと米国での事業を清算する。メディカゴの植物由来の COVID-19 ワクチン Covifenz は、開発の遅れ、競合他社に比べワクチンの効果が低いこと、タバコ会社フィリップ・モリスが少数株主になっている（*当時）のが理由でワクチンを WHO から拒否されるといった問題に直面していた。フィッツギボン州経済・イノベーション・エネルギー大臣は、メディカゴの専門知識と人材を州内に留めるために、三菱化学と連邦政府と協力してメディカゴの買い手を見つけるために動いていると発言。州が融資した 7450 万ドルは返済されるとのこと。連邦政府はワクチン開発とケベック市工場建設のために 1.73 億加ドルを支出し、Covifenz ワクチン最大 7600 万回分の購入契約も締結済み。

・2月7~9日、プラント・モンリオール市長は、経済ミッションでメキシコを訪問。モンリオールのマルチメディア、建築、アート関連の約 20 企業・団体が参加。

・2月8日、世界的ヒット作「PUBG」を制作する韓国のゲーム企業 Krafton がモンリオールにスタジオを開設。

・2月9日、2014年以來初のたばこ税増税実施。200本入りカートンあたり8加ドルの引き上げ。

・2月10日、州の1月の失業率は3.9%。国内平均は5%。

・2月13日、アエロ・モンレアルのブノワ社長は、3月13日に退任すると発表。後任はリュシエ(Melanie Lussier)氏。

・2月13日、電気バス製造販売の Lion は、三菱 HC キャピタルの子会社である三菱 HC キャピタル・カナダおよびその関連会社 ENGS Commercial Finance と、米・加の顧客向けに融資プランを提供する契約を締結。

・2月17日、韓国 LG 化学は、米鉱山企業ピードモント・リチウム(Piedmont Lithium)に1億加ドルを出資。この取引でピードモントは、同社が25%を保有するサヨナ(Sayona)ケベックのラコルヌ(La Corne、アビティビ地域)鉱山のスポジュメン(リチウム精鉱)20万トンに4年間LGに供給する。

・2月20日、モンリオール・インターナショナルによると、モンリオール圏で2022年、102件、36億加ドル規模の投資プロジェクトが8287人の雇用を創出した。

・2月21日、リオティントは、2024年より、BMWの米スパータンバーグ工場にカーボンフリー製錬技術エリシス(Elysis)によるアルミニウムを供給すると発表。Elysisと再生材の使用により、BMWは排出量を70%削減できるとのこと。

・2月22日、エアバスは、ミラベルで製造されるA220型機の製造速度を加速させるため、800人を雇用する(うち300人は退職者の補充)。

・2月22日、ハイドロケベック(HQ)は、2022年、前年比10億加ドル増となる45億加ドルの純利益を上げ、州政府に過去最高となる34億加ドルの配当をもたらす。国際市場におけるエネルギー価格の大幅な上昇が増益の主要因。

・2月23~24日、ルゴ州首相は、2041年にNL州との電力供給契約が終了するラブラドルのチャーチルフォールズ水力発電所について、2041年以降の新たな契約交渉に向けた話し合いを始めるため、セント・ジョンズでフューリーNL州首相と面会。1969年に締結され、QC州が利益の大部分を得ている現行の契約について、フューリー氏は「財政的に不公平」とし、ルゴ氏も「悪い」契約であると認め、現在と今後のことを話し合う両州共同チームを結成すると発表。

・2月27日、ポーター航空は、サン・テュベール空港(ロングイユ)に2億加ドルの新

ターミナル建設を発表。年間最大 400 万人の旅客を受け入れ、近隣に 130 室のホテルも建設予定。当面は国内線のみとなる。2024 年完成予定。

(2) NL 州

・2月23～24日、フューリー州首相は、チャーチルフォールズ水力発電所について、ルゴーQC州首相とセント・ジョンズで面会。(QC州経済ニュース参照)

(3) PEI 州

・2月10日、州・連邦両政府は、シャーロットタウンにバイオサイエンス関連の研究・製造・トレーニング施設「BioAccelerator」建設のため、経済開発インフラへの単独投資としては州史上最大規模となる5000万加ドルを支出すると発表。2025年秋に開設予定。

・2月13日、ポーター航空は、5月17日よりシャーロットタウン・オタワ便を就航すると発表。10月末まで毎日運航予定。

(4) NS 州

・2月3日、州政府は、最低賃金を現在の時給13.60加ドルから4月1日に14.50加ドルに引き上げた後、予定より6ヶ月早く10月1日には15加ドルに引き上げると発表。2024年4月1日以降の最低賃金は、前年の消費者物価指数(CPI)の変化率に1%を加えた値に基づいて毎年調整される。

・2月7日、グリーン水素・アンモニア開発企業EverWindは、ケープブレトン島Point Tupper 施設建設について州規制当局からの認可を取得。商業規模のグリーン水素製造で認可が下りたのは北米初で、プロジェクト費用60億ドル、2025年生産開始予定。EverWindは、同施設で生産されるグリーンアンモニアを供給する覚書を独ウニパー他1社と締結済み。

・2月19～21日、クレイグ州漁業・養殖大臣は、貿易ミッションで訪日。日本の政府・ビジネス関係者と意見交換を実施。

(5) NB 州

・2月16日、州政府は、ガソリンにかかる炭素税について、7月1日より州の制度から連邦制度に切り替えると発表。連邦制度では、ガソリンに炭素税が課税され、州民は小切手でリベートを直接受け取る。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、

「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下の URL をクリックすると閲覧いただけます。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter：@JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当（emagazine@mt.mofa.go.jp）までご相談ください。

■-----■